

第7回 市民公開講座

親ががんになったとき —子どもにどう伝え、どう支えるか— 子どもも「第2の患者」です

日時 平成24年 **3月3日** 土曜日 午後1時～3時

場所 金沢医療センター外来棟3階 講堂

参加費 無料
駐車料 無料

講演会 司会：竹川 茂（金沢医療センターがん相談支援室長）

テーマ：親ががんになったとき —子どもにどう伝え、どう支えるか—
演者：大沢 かおり

プロフィール 東京共済病院がん相談支援センター医療ソーシャルワーカー、社会福祉士、精神保健福祉士。
1990年3月上智大学文学部社会福祉学科卒業。
1991年3月から東京共済病院にて医療ソーシャルワーカーとして勤務。
2007年より院内がん相談支援センター専任ソーシャルワーカー。
2008年より、多施設の小児科医、看護師、臨床心理士らと協力し、がんになった親とその子どもをサポートする「Hope Tree」という団体を作り代表を務める。
所属学会：AOSW (Association of Oncology Social Work) / IPOS (International Psycho-Oncology Society) / 日本緩和医療学会、日本乳癌学会

シンポジウム 司会：竹川 茂（金沢医療センターがん相談支援室長）

テーマ：子どもも「第2の患者」です

シンポジスト 大沢かおり（東京共済病院がん相談支援センター医療ソーシャルワーカー）
越田 理恵（金沢市教育プラザ富樫 総括施設長）
和田真由美（血液疾患の患者会 萌の会代表）
竹内外美栄（乳がんサバイバー、金沢医療センターSHARE-CST勉強会メンバー）

- 主催／独立行政法人国立病院機構 金沢医療センターがん診療部
- 企画責任者／がん診療部研修研究推進部門 太田安彦、北俊之、小室龍太郎
- 後援／北國新聞社
- 問い合わせ先／076-262-4161（代表）